

租税訴訟学会会員各位
実務家・研究者各位
報道関係者各位

租 税 訴 訟 学 会
会 長 大 淵 博 義

第58回研究会のご案内

当会の研究・提言部会では、次により第58回の研究会を開催しますので、是非ご参加ください。

記

- 1 日 時 2023年10月5日（木）18：00～20：30
 ※30分ほどの討論を行う予定です。
- 2 場 所 東京税理士会館2階 大会議室
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-6 TEL：03-3356-4461
- 3 テーマ 「我が国の税法解釈の昏迷化とその原因を探る」
 ～千丈の堤も蟻の一穴より崩れる（韓非子）～

我が国の課税実務及び税務訴訟の実相に鑑みれば、上記の言葉の意味を痛切に感ずる。それは行き過ぎた課税処分が、問題認識もなく権利救済制度の判決等で支持されることにより解釈が先例として定着し、さらにその解釈の拡大を招来して課税実務に大きな混乱をもたらし、納税者の不平等課税、財産権侵害等の憲法違反を生起している。

今回の研究会では、発表者自らの税務訴訟等の経験を踏まえて、現在の課税実務及び税務争訟における税法解釈と適用の現状とその問題点を解明して税理士等の専門家の認識に問いかけたいと考えている。

今後の課税実務及び税法解釈の研究の一助となれば幸いである。

- 4 発表者 中央大学名誉教授・税理士 大淵 博義 氏
- 5 参加費 資料代 1,000円（当日徴収）
- 6 共 催 日本税務会計学会（東京税理士会）
- 7 後 援 東京弁護士会

以上

※事前申込は不要です。

※本研究会は、東京税理士会の会則研修です。